



シグニス動画 フェスティバル

あなたの周りにある福音を見つけて、
動画作品をお送りください！

時間は3分以内。カメラでもスマホでも。
小さな福音を伝える動画を作ってみませんか？

SIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会／会長：土屋 至）では、福音的な動画作品を募集いたします。「応募規定」（裏面及び特設サイト）をご覧ください。3分以内の動画作品をお送りください。このフェスティバルを応援してくださる協賛企業・団体も募集しています！

優秀な作品は2025年3月頃の表彰を予定しております。
ふるってご応募ください！

募集期間

2024

4.1 ▶ 10.31

▼特設サイト

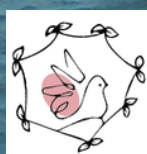


主催：SIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会）

後援：キリスト教動画伝道ネットワーク

特別協賛：一般財団法人日本聖書協会、OBSBOT

（2024年3月現在）



動画伝道ネットワーク
video ministry Japan

開催趣旨

このたびSIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会）では、「シグニス動画フェスティバル」としまして、皆様から広く短編動画作品を募集し、カトリック精神、キリスト教の精神に合致する普遍的・福音的な動画の制作者を表彰するイベントを開催することとなりました。

本イベントは、2022年度をもって最終回を迎えた、一般財団法人日本聖書協会主催「聖書動画コンテスト」に代わる動画イベント開催の期待を受けて、日本聖書協会様にも相談の上、開催に向けて検討を重ねてきたものです。SIGNIS JAPANとその協力者には映像関係者に加え、カトリック教育関係のメンバーも多く、「聖書動画コンテスト」に応募してきたキリスト教学校の皆様にも幅広く対応できるものと考えております。

SIGNIS JAPANは2017年度の総会で、「福音的な映画を紹介し、福音的なインターネット文化を育て、福音的にメディアを用いる個人・団体を応援することで、人を隔てるあらゆる壁を超えて、普遍的平和をもたらすキリストの福音を広める」というミッション・ステートメントを定めました。福音的な動画を募り、その制作者を応援するイベントは、まさしくこのミッション・ステートメントを実現するものです。

SIGNISとは？

SIGNISは、バチカンに認可されて教皇庁広報省と強力に結び付いて活動する国際的なNGOで、95年の歴史があります。本部はベルギーのブリュッセルにあり、ローマに技術サービスセンターを持つほか、100以上の各国・地域に支部があります。教皇ヨハネ・パウロ2世の強い思いにより、OCIC（映画・視聴覚）とUNDA（ラジオ・テレビ）の2つのカトリック組織が統合され、2001年に新しく“SIGNIS”が誕生しました。

日本では、SIGNIS JAPAN（カトリックメディア協議会／会長：土屋 至）として、聖職者、信者、求道者が連携して活動しています。

【公式サイト】<https://signis-japan.org/>

応募規定

- ・時間：3分以内。
- ・応募資格：不問。年齢、プロアマは問いません。
- ・応募本数：1人または1団体1作品まで。
- ・対象作品：実写・アニメ・CG・縦型のショート動画など、ジャンルは問いません。ただし、生成AIに過度に依存して作成した動画の応募はご遠慮ください。過去に発表した作品でも応募可能ですが、受賞歴のないオリジナル作品に限ります。
- ・応募方法：特設サイトの応募フォームよりお送りください。
- ・募集期間：2024年4月1日（月）～2024年10月31日（木）
- ・各賞：「広報担当司教賞」（賞金未定）、「日本聖書協会賞」ほか。
- ・審査員：松本准平（映画監督、『車軸』〈2023年〉、『桜色の風が咲く』〈2022年〉ほか）、酒井俊弘司教（カトリック大阪高松大司教区補佐司教、SIGNIS JAPAN顧問司教）ほか。
- ・結果発表：入賞作品については、2025年3月（予定）に特設サイトで発表させていただきます。



◀特設サイト（<https://signisgoodnews.sakura.ne.jp/movie-festival/>）はこちら。